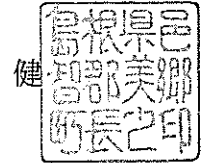


美郷建第 665 号

平成20年10月8日

国土交通省道路局長 様

美郷町長 沖 野



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙のとおり意見・提案について提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

島根県美郷町

- ・特に地方にとって使い勝手の良い地方道路整備臨時交付金制度の更なる拡充を図ること。また、引き続き財政力の弱い市町村への配慮を実施すること。
- ・地方の道路は、防災対策、定住対策、通勤、通学、さらに救急医療などの面においても必要で、住民にとって、生活を支え、命を守り、活力の基盤となるものである。地方の実態に合わせた評価手法等の検討が必要であり、これまで道路整備が遅れている地域(未改良率等の客観的な指標等)に対してより重点的に配分するような配慮が必要である。
- ・道路ストックが高齢化し、今後維持修繕に必要となる予算が増大する。適切な道路管理を図る必要があるが、予算や人員など益々厳しくなる中で適切な管理をするためには、支援が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②
島根県美郷町

②—1 地域の現状と抱える課題

○現状

・若年層の流出や少子化の進行による人口減少と高齢化現象が著しく、地場産業等の後継者不足、集落機能低下など、地域生活にも多大な影響を及ぼしている。今後も人口減少、少子高齢化問題の深刻化が予測されている。

・道路については、地域間及び近隣市町間を結ぶ整備が遅れており、災害時の道路ネットワークの形成及び救急救命を含め整備が望まれている。

○課題

・定住対策及び就労対策としての道路整備
(道路整備による通勤範囲の拡大及び時間短縮等)

・公共交通が少なく自家用車による移動(通勤・通院・買い物等)がほとんどで、幹線道路網の整備が望まれている。

・特に島根県西部は公共事業減少による景気の低迷が著しい。

・美郷町第1次長期総合計画策定にあたり、新しいまちづくりと合併に関するアンケート調査における住民の意向を整理し策定された。アンケート結果で満足度が低い項目として、1位病院・救急医療機関、2位鉄道やバス等の公共交通、3位幹線道路(地域を結ぶ主要道路)であり、合併後に期待している項目として、1位国道や県道などの幹線道路網の整備、2位高齢者・障害者・児童の福祉対策、3位路線バスなどの公共交通網の整備であった。

美郷町のめざすまちづくりの基本構想として、「水と緑 いきいき輝く夢あふれる協働のまち」を基本理念とし、三つの基本方針と五つの地域の将来像を掲げた計画となっている。地域の将来像のひとつで「生活基盤」利便性の高い快適な暮らしを実感できるまちとあり、その中に①道路交通網の整備②土地利用と市街地の整備③生活環境の整備④情報・通信の整備⑤環境衛生の充実⑥消防・防災・防犯の強化⑦自然環境の保全と活用がある。暮らしやすく快適な生活環境を創り出していくことが求められており、住民の期待度が高い道路交通網の整備を一番に掲げ取組む計画となっている。

施策方針として、道路整備は、町民の生活道路の確保、日用雑貨や地場産業のための物流輸送路、一日行動圏の拡大など住民の暮らしの様々な面で必要不可欠なものであり、大局的観点に立って計画的に整備していく必要があります。また、幹線道路の整備は、交流人口拡大にも重要なポイントとなります。地域の資源、施設の機能分担を図り、均衡ある地域の発展を促進するために、国、県道を中心とした幹線道路ネットワークの整備を促進します。町道などの生活道路の整備や維持・補修についても計画的に実施します。また、利便性ばかりでなく、子どもや高齢者・障害者など、全ての人々が安心して利用できる快適で安全な道路空間の形成を図ります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

島根県美郷町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・国道375号 湯抱バイパスの早期完成(幹線道路整備)	・湯抱バイパス区間は、幅員が狭隘なうえ急カーブが連続しており、積雪時において離合が困難で交通事故が多発している。また、近隣市町を結ぶ幹線道路としての整備が望まれている。 早期完成により、救急医療、定住対策、防災対策、さらに通勤、通学において安全で利便性の高い快適な暮らしを創り出すことができる。	